

新型コロナウイルス感染症予防の為

今年度のプール授業を中止された学校の皆様へ

新型コロナウイルス感染症予防の為、今年度のプール授業を中止し、プール清掃を行わない学校が多数あるそうです。

それに伴い、プール貯水をさらに1年間放置した場合の弊害や「プール洗浄促進剤 マグクリン SP」の効果持続期間に関しましてお問合せを多数いただいております。

そこで、多く寄せられましたお問合せに対する回答を公開いたしますので、是非ご参考にされてください。



Q：今年度のプール清掃を行いません。

通算2年間プール貯水を放置することとなりますが、
来年度の清掃は通常通りできるでしょうか？

A：今年度のプール清掃を行わず、2年間貯水を放置しますと、プールの汚れは相当進むと考えられます。
特段の対策を取らず、単に貯水を放置しているプールでは、通常通りの清掃では汚れを
落としづらいと思われれます。

Q：今年度のプール清掃を行わず、貯水を放置したプールではどのような弊害が発生しますか？

また来年度プール清掃を行う際に高圧洗浄機や塩素剤を投入することで、清掃負担を
軽減する予定です。

この方法は有効でしょうか？

A：プール貯水の放置期間が長いプールでは、水質が悪くなり、ヌメリ・こびりつきが悪化することが
予想されます。

このヌメリ・こびりつきを落とす為高圧洗浄機の使用や、金属たわし、デッキブラシで過剰に
擦過するとプール槽の塗装面を著しく傷つけ、プール槽の寿命を縮めることになりかねません。
漏水などの損傷を招くことも考えられます。

またしつこい汚れを落とす為に塩素の投入や塩素系洗剤を使用することもプール槽を傷める原因となり、塩素濃度の高い水を排水すると配管の腐食にも繋がってしまいます。

Q : 昨年度のプール授業実施期間終了後に「プール洗浄促進剤 マグクリーン SP」を投入しております。今年度、プール清掃をせずに貯水を放置した場合、「マグクリーン SP」の効果は来年度のプール清掃時まで持続しますか？

A : 「プール洗浄促進剤 マグクリーン SP」は毎年プール清掃が行われることを前提に設計されております。

1年間の中には雨水の流入が多くなる梅雨や台風があります。

雨水による「プール洗浄促進剤 マグクリーン SP」の希釈や、プール容積を考慮して1年間効果が持続する規定量を決めております。

よって2年間効果が持続することは考えにくいです。

上記の様に1年に一度行っていたプール清掃を行わず、もう1年間貯水をした状態で放置した場合、プール槽に与える影響が懸念されます。

プール槽保護、清掃促進のためにも藻のこびりつき抑制と水質向上に寄与する「プール洗浄促進剤 マグクリーン SP」の投入をおすすめいたします。

【「プール洗浄促進剤 マグクリーン SP」を使用するメリット】

- ① 水質が良くなる
- ② 藻のこびりつきを抑制する
- ③ プール槽に負担の少ない清掃が可能となる
- ④ プール清掃の負担が軽減できる
藻の発生、こびりつきを抑制。簡単に汚れを落とせるのでプールを傷めないで楽に清掃が可能となります。
- ⑤ 水道料金軽減

↓ こちらより「プール洗淨促進剤 マグクリーン SP」の詳細な説明を
ご覧いただけます。

http://i-icd.jp/magcleansp_lp

【問合せ先】

総販売元：株式会社クリーンアーステクノロジー

所在地：〒105-0012
東京都港区芝大門1丁目4番10号 大蔵ビルディング 5F

連絡先：TEL 03-6430-9615
FAX 03-6430-6662
MAIL info@cet-j.com